

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	ICTのリアルタイム性を生かした医師対医師による遠隔医療の効果に関する調査研究			
② 実施予定期間	2019年2月12日から2019年3月31日 (当院では倫理審査委員会承認後)			
③ 対象患者	④の対象期間中に当院で他院から転送後に脳梗塞治療を受けられた患者さん			
④ 対象期間	2013年4月1日から2018年10月31日 (上記期間中のICTシステム導入前後1年以内)			
⑤ 研究機関の名称	別添参照			
⑥ 対象診療科	脳神経外科			
⑦ 研究責任者	氏名	鈴木 倫保	所属	脳神経外科
⑧ 使用する情報等	脳梗塞急性期に他院へ搬送され、画像転送システム（遠隔医療）により当院へ転送された患者さんの発症からの時間経過と治療方法、治療転帰を調査します。			
⑨ 研究の概要	本研究の目的は、急性期脳梗塞に対する再開通療法を行った患者さんを対象に、スマートフォン等のICTシステムを用いた遠隔診断・治療補助システムが診断・治療までの時間短縮および治療転帰改善に有用であるかどうか明らかにすることです。そのため、（一社）日本脳神経外科学会の事業として、日本における保険収載のためのデータ収集を最終目的とした後向き多施設共同研究を実施します。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年 2月 25日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	日本脳神経外科学会に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	平成30年度総務省「ICTのリアルタイム性を生かした医師対医師による遠隔医療の効果に関する調査研究」費（調達番号：0049-0192）			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・	山口大学医学部附属病院 脳神経外科 担当者：石原秀行			